



後藤英鵬 書 (県三)

第 43 号

発行 県立富士宮北高等学校同窓会 北 嶺 会
静岡県富士宮市宮北町230 (北高内) 電話 (0544) 27-2533 (代)

編集 北嶺会広報委員会
印刷 (株)きうちいんさつ

毎年一月に入ると同窓会入会式、卒業式、入学式、学年幹事会、定時総会へ向かって実行計画が審議され、北嶺会だよりの編集には広報委員会は繁忙の時間を迎えます。
経費削減から北嶺会だよりは平成元年以前の卒業生で終身会費納入者のみに発送し、平成元年以降の全会員と未納者のみは、インターネットと携帯電話を使ったLINEで発送することに大きく経費を削減することができました。発足当時比べホームページは一段と



ご挨拶
北嶺会会長 西川恒彦

北嶺会会長 西川恒彦

充実し、LINEの発信も拡大しています。時代は技術者によって変革していきます。その新しい技術を使い発展させていくのは若い人達です。ホームページ・LINEの採用により北嶺会も変わってきました。
四月五日、二百四十三名の新入生が満開のさくらに迎えられ入学しました。新入生の若い力が次の時代の北嶺会を担っていくと新入生代表の挨拶からそれを強く感じました。
今年度の定時総会も大きく変わります。来年度の総会からは、女性会員のみな様が総会幹事を務

める年齢になり今回の五月二十二日の総会には来年に備え大勢の方が参加して下さいます。北嶺会も女性の参加により大きく変わると期待しています。男性では気が付かない女性ならではの発想が北嶺会を一段と充実させ女性の理事の就任が母校に貢献すると期待できます。
平成二十九年には創立八十周年を迎えます。女性会員のみな様の活動を楽しみにしています。



北嶺館

2016 北嶺会総会 ご案内

と き：平成28年5月22日(日)
と ころ：クリスタルホール・パテオン
会 費：男性 5,000円 女性 3,000円

受 付：午後 1 時
総 会：午後 2 時
懇親会：午後 3 時

富士宮北高野球部

創部七〇周年を迎えて

富士宮北高野球部OB会副会長

渡邊 一敏



昨年の十一月富士宮北高野球部の創部七〇周年の記念式典が盛大に行われました。第一期生の先輩方から現役高校生まで幅広い年代の人達が一堂に会しての式典でした。

その中に富士宮北高の野球部OBでありながら富士高の野球部OBでもある池谷周一郎先輩も出席していました。昔からなぜだろうという思いがありましたが、この式典の時に自ら思いを綴った手紙を持参してくれました。その手紙を披露したいと思います。

■富士宮北高野球部創部七〇周年記念に招かれて

池谷 周一郎

富士宮北高野球部創部七〇周年、誠におめでとうございます。

今、七〇周年という野球部の歴史の中で私も少しばかり関わったことに喜びを感じています。大勢のOB諸氏の前で私が富士高・富士宮北高両野球部の

OBだと紹介され、驚いた人もいたかと思えます。

終戦間もない昭和二十四年四月、私は当時私立校であった富士宮北高の前身、富士宮実業高等学校の併設中学に入学しました。新制中学がスタートして間もない時は家から身延線に乗り、約一時間半かけて環境の良い実業中学に通いました。そして好きな野球を始めました。当時中学三年生のキャプテンは佐野康雄さんでした。大変目をかけていただき、佐野先輩が高校に進むと一緒に高校野球の練習に参加するようになりました。

山中先生はじめ諸先輩にはお世話になりました。特に後に早稲田大学野球部のキャプテンになられた遠藤実さんは私の憧れでした。大変悩みましたが、県立高校になった富士宮北高に進学するところを家から近くにある富士高に進んだのでした。お世話になった北高の先輩方を裏切ってしまった。

そんなわけで私は富士宮北のOBであり、富士高のOBなのです。昭和四十一年春、富士宮北高の甲子園初出場から富士宮北高が選抜に二回、富士高が夏の大会と選抜に一回ずつ出場し

ました。近い将来、両校が再び甲子園の土を踏む日が来ることを願っています。最後に今回、富士宮北高野球部創部七〇周年にお招きいただいた事を心から感謝しております。

この式典を通じて七〇年間の富士宮北高の野球部の歴史と先輩方の思いを感じる良い機会となりました。この思いを若い後輩達に伝えていく事が私達の役目であろうと改めて意を強くしました。

昭和五十五年の春、甲子園出場が決まると、街を歩いていても応援してくれる方々から声をかけられ、グラウンドには常に大勢の人達が来てくれるようになります。それだけ、みなさんの期待が大きいことをひしひしと感じました。私はコーチとして同行していました。試合前の外野ノックの時、こんなに大勢の人の中で試合ができる選手達がとても羨ましく思いました。スタンドには野球部のOBや応援してくれる人達で一杯でした。もう一度そんな思いをしたい。選手達にもしてもらいたいと毎年母校の甲子園出場を願っています。

北嶺会入会式

二月二十九日、二百四十一名の卒業生が北嶺会に入会しました。入会式において生徒代表があいさつ。式のあと記念講演として、佐野勝幸氏（昭和四十六年度卒）より『これからの福祉』というテーマで講演が行われました。

生徒代表挨拶

山野結美

冬の名残のまだ去りやらぬ時期ですが、日一日と暖かい春へと近づいている兆しが見え、立ちと別れを感じる季節となりました。

思い返せば三年前、真新しい制服に身を包み、北高の門をくぐり、中央道の桜並木に魅了されたあの日の出来事が、昨日のことのように思い出されます。毎日授業に真剣に取り組んだ日々や、皆で楽しむことができた北嶺祭、サッカー部のマネージャーとして、つらい時もうれしい時も、常に仲間と過ごしてきた時間は、いつになっても心の中で輝き、一生忘れることのできないかけがえのない宝物です。

できましたのも、ひとえに先生方の御指導と同窓会の皆様方の数々のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、今の社会に目を向けると、昨年、選挙権が十八歳に下げられることが決定しました。今まで政治に関わるものなかつた私たちが、日本の未来を決める権利を担うことになるのです。

常に日本の現状を知ることができるよう努め、生じていく課題を多面的・多角的にとらえ、自分なりの意見を持ち、社会に貢献する力を更に伸ばしていきたいと考えています。

自分の幼いころからの幼稚園教諭になる夢を実現するべく、ここ富士宮北高校で学んだという誇りに思い、自信を持って努力することをお誓いするとともに、今後とも指導を承りますようお願い申し上げます。入会の挨拶といたします。

記念講演

— これからの福祉 —

(福) 富士宮市社会福祉協議会事務局長



佐野勝幸氏

佐野勝幸氏は昭和四十六年度卒業生で、富士宮市役所を保健福祉部長の職を最後に退職され、現在は社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会の常任理事兼事務局長の職につかれております。

佐野氏は、北高時代数学が好きで、高校の数学教師になりました。思い立教大数学学部数学科に進学したそうですが、教師にはならず、縁あって富士宮市役所に就職したとのこと。

大学時代は、高校の教師になったときに、生徒に数学以外のことも何か教えたいと思い、コンピューターの勉強をしたそうです。

市役所ではコンピューターシステムの導入などに携わることが多く、大学時代のことからそのまま役にたった訳ではなかったが、「知らないことも、やっ

いるうちにできるようになるものだ。」と語り、「これから、知らないこと、難しいこと、いろいろ出会うと思うが、逃げていてはだめ！必ずできるようになる！『諦めない』ということばを忘れないで欲しい。」とメッセージとして話されました。

「これからの福祉」と題する講演の中では、戦後始まった日本の福祉制度「措置」の時代から、現在の「福祉サービス」への変遷の中、これからの福祉は、「地域福祉」と表現されるように、「普段住んでいる地域で、誰もが普通に幸せに暮らすことができるように、地域でみんなが支え合って、地域の福祉課題を解決していくこと、暮らし合うこと」だと話され、大事なことは、地域の中の繋がりを



を持つこと、「絆」と、困っている人がいたら声をかける「福祉のこころ」を大切にして欲しいと話されました。

結びに「皆さんに期待すること」として、アルベルト・アインシュタイン氏の、「価値のある人間になるうとせよ。他人のために尽くす人生こそ、価値ある人生だ。人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる。」

そして、新幹線の父と言われる島秀雄氏の、「出来ないと言うより、出来ると言う方が易しい。なぜなら、出来ないと言うためには、何千何百とある方法論の全てを出来ない」と証明しなければならぬ。しかし、出来ると言うためには、数ある方法の中から、たった一つだけ、出来る」と証明すればいいからである。」

この二人のことばを紹介し、みんな、これから夢を持って、諦めないで歩んで欲しい。どんなに難しいことも、きつと君たちなら出来る。

覇気・信念・明朗。北高生であつたことを誇りに、がんばってください、と後輩に大きな期待を示されると共に、エールを送り、記念講演を終了されました。

絵 会



懇親会



校長あいさつ



会長あいさつ



受付風景

懇親会



北嶺会総会・懇親会

平成二十七年

平成二十七年五月二十四日(日)、平成二十七年年度の北嶺会総会と懇親会がクリスタルホール・パテオンを会場とし開催されました。当番幹事(昭和五十三年度卒)の尽力により大勢の同窓生・恩師の出席のもと盛大に行われました。

26年度会計報告

収入の部

入会金	2,900,000
会費	72,000
雑収入	40,404
繰越金	2,909,247
合計	5,921,651

支出の部

事業費	1,250,000
運営費	925,401
管理費	182,016
収支剰余金	1,752,234
積立金	1,800,000
その他	12,000
合計	5,921,651



静岡県立富士宮北高校同窓会

北嶺会

北嶺会・同窓会ホームページ

hokureikai.jp

Facebook



静岡県立富士宮北高校同窓会

北嶺会

HOKUREI
Facebook

今現在も沢山の同窓生の方に見ていただいています。

同窓生の皆様、ホームページとフェイスブックを通して同窓会の輪と絆を深め、母校を応援しぜひ、たくさん「いいね」ボタン押して頂けたら嬉しいです！

記事も自由にシェアしていただいても構いません。

皆様の近況報告や、同窓会開催の告知、同窓生の活躍の様子など、節度ある範囲で、活用いただけましたら幸いです。(過度な宣伝等は、削除させて頂くことがあります)

また、卒業時と住所・名字等の変更がありましたら「北嶺会」会員名簿の変更・修正に関する個票(別紙添付・ホームページ) FAX 0544-23-8021 または郵送でお願いいたします。



(5) 北嶺会だより

関東北嶺会だより

第四十二回 親睦会・墓参のお誘い

代表世話人 須藤 哲志

開催日 五月二十九日(日)

関東北嶺会に、いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

さて、恒例の親睦会及び母校創立者望月軍四郎先生の青山墓地参拝を、本部役員のご出席を

いただき行うことになりご案内いたします。皆様には、それぞれの地域で活躍されご多忙とは存じますが、日本一の富士山麓で過ごした母校を思い出し、故郷語り、お年の差など気にせずお楽しみいただきたいと存じます。

是非、この機会にお気軽に、初めての方もご参加ください。

次に「大学箱根駅伝に人生を掛け、山登りで区間新を出した、投稿者、関東支部会計担当・大塚癸未男氏をご紹介します。

昭和三十七年普通科富士中卒

横浜市青葉区在住 大塚 癸未男

北高に入学し始めた陸上長距離

離は、故・渥美先生の熱血指導で二年生の時、全国高校駅伝に初参加。私は一区を任せられ、三キを先頭で走る。「北高の大塚がトップ」とラジオ実況放送が全国に中継された。学校では放送を録音して後日、講堂で全校生と共に聞いた事を鮮明に覚えている。

大塚行けー!



清 ねお作

県教育委員会が将来性有りと順天大へ売込んでくれ入学。四年間、箱根駅伝五区(山登り)を走れた。四年の時は箱根駅伝、初優勝に貢献し卒業。陸上に夢を抱き東急電鉄に入社できた

が、探究心薄くオリソニックには出られず、マラソン、二時間は十六分三五秒の記録を最後に残り引退。良き仲間にも恵まれ支えられ最高の人生、有難きかな!

今年一月、共に走った外山巨夫君が帰霊、御冥福を祈ります。

君が帰霊、御冥福を祈ります。

■同窓生の皆様、青山墓地墓参に参りませんか。(自由参加)

今ある自分に感謝をこめ一度はいかがでしょうか。墓参出来ない方は直接会場でお待ちします。(当日参加歓迎します)

なお、名簿等の不備で案内状をお送り出来ない場合があります。幹事長まで、お問合せください。詳しい資料をお送り致します。遠藤幹事長 携帯電話 〇九〇―一九九八―五〇四七

〇懇親会場所 日時 会費

・日時：五月二十九日(日)

・場所：千代田区霞が関三二―二五

霞が関ビルDのエレベーターで三十五階・相模の間へ

・開場：十一時三〇分

・電話：(〇三)358110121

・最寄駅：地下鉄銀座線虎ノ門駅

十一番出口徒歩八分

※経路複雑、とにかく、霞が関ビル・三十五階を目標に

・会費：男性六千八百円 女性五千円 学生二千円

〇青山墓地墓参(自由参加)

午前十時十五分(雨天決行)

・集合：青山墓地管理事務所前

・銀座線外苑前駅 徒歩七分

富士宮実業(工・商・高等学校)

創立一九三七年の追憶

眞保等

一期生・昭和十七年卒(大田区蒲田在住)

昭和十三年に入学、まだ校舎は現在とほぼ同じ広さの広大な敷地に木造平屋が二棟だけの四教室であった。当時は支那事変で国民皆兵の呼び声高く、学問と共に軍事教練も厳しく軍の連隊より軍刀を持った将校が配置され、一週数時間は軍事教練を受け校内に兵器庫もあり、帯剣等があった。

高学年になると武器を訓練に使用し勉強どころでなく、卒業近くには実弾射撃訓練も行っていた。

昭和十六年世界戦争開戦の翌年、五年がかりでようやく卒業し浜松の連隊に入隊。朝鮮で終戦迎え、二十年十二月

初代会長の齊藤正君の発言で、本校創立者・望月軍四郎先生の墓参が始まり以後、北嶺会・本部や関東支部が毎年続けてくれ一安心である。最後に、齊藤君や多くの亡くなられた同窓生の皆様のご冥福を心から祈り申し上げて筆を置きます。次第です。

合 掌

3年間を振り返って

商業科 岩間真希

私のこの学校での三年間は、幸せなものでした。先生や友人に恵まれ、楽しい日々を過ごしました。多くの人が支えてくれたおかげで、全商検定六冠を達成し、望月軍四郎賞までいただくことができました。自分一人ではいたことができなかったと思うので、お世話になった人達に感謝の気持ちでいっぱいです。勉強だけでなく、沢山の経験をさせていただき

普通科 稲葉大輝

私の三年間は、友人、両親、先生方に支えられながらかなり大きく成長することができた三年間でした。部活では、ソフトテニス部で毎日朝練、昼練、部活後の自主練と、朝早くから夜遅くまで仲間たちとともに練習に励みました。ときにはプレッシャーに押しつぶされそうになることもありましたが仲間と支え合うことで多くの壁を乗り越えてきました。また、応援される選手に

ました。チャレンジショップでは企画から運営、販売まですべて自分達で行うという貴重な経験ができました。実際にやってみて、こんなことも決めなければ考えなければいけないのかと気がつくことが沢山ありました。この経験をを通して、多くのことを学び、そのすべてが自分の財産になりました。

沢山のことを学ぶことが出来た充実した学生生活を送ることができました。

なることを目指し、ソフトテニスを頑張るのはもちろんですが、服装など普段の学校生活をしっかりとすることを心がけ、北嶺祭や修学旅行などの行事のときには、クラスや周りのみんなのために自分のすべきことを考えて行動しました。勉強面では、文五に入り、レベルの高い中で喰らいついていけるように、部活で忙しい中でも時間をつくり勉強する努力をしていました。本当に充実し、成長できた三年間でした。

田子浦支部だより

齊藤忠久氏 新会長に！

田子浦支部会長（二十五年度卒）鈴木一彦氏が今年退任され役員会において、新会長に齊藤忠久氏（二十八年度卒）副会長 吉野文雄氏（三十七年度卒）が選任された。

新会長のもと先輩後輩のきずなをますます深め、懇親の輪を広げてゆき、会の発展を願って北嶺会総会への出席をする事により、北嶺会の活動状況や母校の近況を見詰めてゆきたい。

※田子浦支部は平成十年に支部が開設された。

体育・文化後援会

会費支援のお願い

体育・文化後援会理事長 今村一徳

今年も、我が北高の桜並木が満開の花を咲かせ新入生の入学を祝福しており、生徒達は高校生活が始まり、それぞれの希望する体育部・文化部の各部に所属し緊張しながらも躍動的な日々が動き始めました。

さて、当会（体育文化後援会）は北嶺会会員及びPTAの皆様方により構成され、生徒達に確かな人間教育が受けられる様に支援活動を展開しています。その主とする活動が部活動支援です。本校の部活動は大変活発であり優れた教育現場であり生徒達は部活動を通じ

多くの事を学び多くの経験をしております。北高生皆が、卒業後この経験を礎に力強く羽ばたき素晴らしい人生になる事が私達の願いです。当会の活動をご理解の上、何卒、より多くの皆様方からのご支援ご協力を伏してお願ひ申し上げます。また、北嶺会会員皆様には我が母校の後輩達の為に、地域の皆様・企業様へのご支援ご協力のお願ひの活動も重ねてお願い申し上げます。

●平成26年度 体育文化後援会 会計報告 ●

収入の部

科目	決算額
1 会費	1,393,000
(1)同窓会関係	663,000
(2)PTA	730,000
2 雑収入	156
3 前年度繰越金	1,366,069
4 北嶺会助成金	1,000,000
収入の部合計	3,759,225

支出の部

科目	決算額
1 運営費	2,611,931
(1)コーチ費	840,000
(2)体育部助成金	753,753
(3)文化部助成金	134,520
(4)施設設備費	878,498
(5)表彰費	5,160
2 管理費	74,738
3 積立金	0
支出の部合計	2,686,669

北高だより 生徒の成長を第一に



校長 美近 望月

昨年五月、関東北嶺会総会に出席させていただきました。本校の卒業生の多くが地元地域で活躍され、本校の教育方針にも地域に貢献する人材の育成をうたっておりますが、同時に、地元を離れた各地域でご活躍されている方々が多くいらっしゃることを認識しました。会員の皆様の心に、北高時代の出来事や学んだこと、恩師や級友のことが未だに鮮明に焼き付いている様子や、離れていればこそ母校愛の強さを感じ取ることができました。会員の皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

さて、平成二十七年度も北嶺会の皆様に多方面で御支援をいただきました。例年八月に実施するPTAと合同の美化活動においては、普段着手できない大掛かりな樹木の手入れを、また十一月には梅ノ木の剪定もしていただきました。いずれも二の宮地区の有志の方のご協力をいただきましたが、これも北嶺会の皆様のご配慮あつてのことです。現在検討中の事業も含めて、北高の自然環境、教育環境を長期的な視野でお考えいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

平成二十八年度は去る四月五日、二四三名の新入生（普通科男子八八名、女子七三名、商業科男子四八名、女子三四名）を迎えてスタートしました。予測不可能な変化の激しいこれからの社会に向け、いかなる状況でも自己の力を呼び起こし（覇気）、自分のスタイルを貫き（信念）、常に笑顔と挨拶を絶やさず（明朗）、よき仲間とともにひたむきに努力を続け、個々の進路実現を図って欲しいと願うところです。

学校教育には、従来の知識伝達中心の指導から、知識を活用できる思考・判断・表現力や、他の人と協働する資質・能力の育成への転換が求められています。グローバル化や地域創生への関わり、そして主権者教育への対応といった多くのことが求められています。地域社会の変わりも踏まえて、北高としてのアイデンティティの確立・維持という課題が突きつけられています。そのための舵取りや選択に迷うことが危惧されますが、「生徒の成長に資すること」を常に第一に掲げ、北高の運営を図って参る所存です。

今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

【大学等への進学】
AO入試・推薦入試なので、早期進路決定を希望する生徒が多いなかで、ここ数年二月三月まで粘り強く勉強を続け、一般入試に挑む生徒が増加傾向にあります。受験勉強で身につくのは学力だけでなく、目標を設定し、計画をたて、実行する力であり、それは社会に出てから必要とされる力です。自己への挑戦を避けて安易な推薦入試に流されてしまうのではなく、高い目標を掲げて自らの道を切り開いていきます。

【専門学校への進学】
看護、医療系への進学が増加しています。医療に携わるためには、学力のみならず、相手思いやる人間力や判断力が必要です。自己の適性を知るために校外体験活動への参加をすすめています。

主な進学先

● 国公立大学 6名

静岡大学・静岡県立大学・都留文科大学・山梨大学（3名）

● 私立大学 69名

常葉大学・順天堂大学・日本大学・静岡福祉大学・神奈川工科大学・関東学院大学・桜美林大学・帝京大学・神奈川大学・東海大学・東京農業大学・東洋大学・法政大学・駒澤大学・国際医療福祉大学・産業能率大学・山梨学院大学・亜細亜大学・名古屋商科大学 他

● 短期大学 12名

静岡県立大学短期大学部・東海大学短期大学部・常葉大学短期大学部・静岡英和学院大学短期大学部・日本大学短期大学部・大妻女子大学短期大学部・湘北短期大学 他

● 専門学校等 81名

富士市立看護専門学校・JA厚生連するが看護専門学校・静岡医療センター附属静岡看護専門学校・静岡済生会看護専門学校・静岡県立東部看護専門学校・静岡中央医療健康大学校・富士リハビリテーション専門学校・静岡デザイン専門学校・沼津情報ビジネス専門学校・大原公務員医療観光専門学校・横浜fカレッジ・日本工学院専門学校・日本外国語専門学校 他

平成二十七年度 進学状況報告

【大学等への進学】

AO入試・推薦入試なので、早期進路決定を希望する生徒が多いなかで、ここ数年二月三月まで粘り強く勉強を続け、一般入試に挑む生徒が増加傾向にあります。受験勉強で身につくのは学力だけでなく、目標を設定し、計画をたて、実行する力であり、それは社会に出てから必要とされる力です。自己への挑戦を避けて安易な推薦入試に流されてしまうのではなく、高い目標を掲げて自らの道を切り開いていきます。

【専門学校への進学】

看護、医療系への進学が増加しています。医療に携わるためには、学力のみならず、相手思いやる人間力や判断力が必要です。自己の適性を知るために校外体験活動への参加をすすめています。

平成二十七年 就職状況報告

平成二十七年は、全国的に景気が回復傾向にあり、雇用環境も改善されました。

本校においても昨年を上回る求人をしていただき、生徒にとっては恵まれた状況でした。(県内だけでも一人四社程度から選ぶことができました。)

九月十六日から入社試験が始され、一月あまりで就職希望者全員の内定をいただくことができました。公務員試験でも、静岡県警、富士市消防、海上保安庁、幹部自衛官など採用倍率の高い試験をクリアする生徒もいました。

この結果は、生徒各人の文武両道での努力が評価されたことや雇用環境が改善されたことでもあります。同窓生の皆様が築かれてきた富士宮北高ブランドのお陰だと感謝しています。

今年度は、中国の景気後退予測や中東問題など不安定要素が多く、雇用環境悪化への不安もあります。現状に満足することなく、生徒の適性や希望に応じた就職指導に取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●内定者の内訳

商業科	男子 27名	女子 24名
普通科	男子 10名	女子 3名
	合計 64名	

●主な就職先

アマダ・テルモ・IAI・エリエール・トヨタ・ジャトコ・パーパス・ピオンズ・HKS・ニッピコラーゲン・玉吉製作所・富士セラミックス・富士化工・三生医薬・三協・アイパックスイケタニ・富士大洋・カナエ工業・ホテイフーズ・ポラテック・イハラニッケイ・ケーテック・日軽蒲原・ダイオーロジステックス・富士宮通運・五十鈴中央・アルミニウム線材・TBC・ミスバラエティ・JR東海・JA富士宮・日本郵便・東京電力・富士宮信用金庫・富士信用金庫・南富士カントリー・休暇村富士・ジーフット・湖成会・百葉の会・神谷歯科・静岡県警・富士市消防・海上保安庁・海上自衛官など

部活動報告

全国大会出場



男子ソフトテニス部
 [個人戦]
 佐藤 有 石川裕澄
 稲葉大輝 飯塚直人
 [団体戦出場]

陸上競技部
 [棒高跳び]
 竹川倅生



相撲部
 [団体戦出場]

国民体育大会出場



相撲部
 有賀拓海 望月康輔
 赤池虎太郎



陸上競技部
 [棒高跳び]
 竹川倅生

東海総体出場

陸上競技部
 [200 m]
 西島亮哉



相撲部
 [個人戦]
 赤池虎太郎
 齊藤 凜
 望月康輔
 三森大輔
 有賀拓海
 赤池昌文
 赤澤主馬

男子ソフトテニス部
 [個人戦]
 勝亦健二
 後藤大成



広報委員

市川 緑	塩川 達明
牧野 利一	今村 一徳
山田 充宏	佐野 嘉則
高野 秀次	松井 博之
矢辺 毅	植松 智美
石川 昌之	鍋田信太郎
吉澤 廣美	田邊 元裕
佐野 正之	佐野 明宣

3冠以上合格者

平成20年度	10名
平成21年度	22名
平成22年度	15名
平成23年度	14名
平成24年度	22名
平成25年度	19名
平成26年度	16名
平成27年度	21名



〈商業科・検定取得状況〉
全商三冠以上表彰
八年連続十名以上

(全商検定1級
 3種目以上合格)